

第49回 産業精神保健講演会【ハイブリッド開催】

大精診では1999年秋に産業精神保健委員会を立ち上げ、職場におけるメンタルヘルスにまつわる課題に取り組んでまいりました。今まで、この方面に関心をお持ちの会員先生方と産業医の先生方、さらには各企業の心理相談員の方々とが一堂に会し、産業精神保健に関する研修を行い、同時に、連携、ネットワーク作りをしていくことを目的として合同研修会を開催し研鑽できたのも皆様方のご協力の賜物と感謝しております。

コロナ禍は我々に深刻なダメージを与えましたが、世の中の変革を促したという側面も否めません。人々の働き方においても、デジタル化が促進され、テレワークや時間差勤務など働き方の選択肢が増え、ワークライフバランスを見直すきっかけにもなりました。しかしその変化に適応できていない領域もあり、特にメンタル不調者の復職については、働き方の多様化でかえって判断が難しくなったケースも見られます。

今回は「テレワークを含めた働き方の多様性とメンタル不調者の復職の問題」をテーマに掲げ、第1部のシンポジウムでは大江橋法律事務所の小寺美帆先生、豊川産業医事務所の豊川彰博先生とナンバかぎもとメンタルクリニック院長の鍵本伸明先生のお三方に、弁護士、産業医と精神科医のそれぞれの立場からご発表いただき、第2部のディスカッションにて理解を深めていきたいと考えています。また、新型コロナウイルス感染の状況によっては会場参加定員の変更や開催中止となる可能性もあることをご理解下さいませ。

テーマ「テレワークを含めた働き方の多様性とメンタル不調者の復職の問題」

■日時：令和6年3月2日（土）17:00~19:15

■参加方法：お申込みの際に、いずれかご選択ください。※会場参加でのみ取得可能な単位もございます（下記参照）

- ① 会場での参加（会場：AP 大阪淀屋橋 4F 南全室）
- ② Web 配信（上記会場からのライブ配信）

※ご選択いただいた参加方法につきまして、後日詳細をご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、会場での参加には定員（189名予定）を設けております。

先着順とさせていただきますが、既に定員に達している場合には、その旨ご連絡いたしますのでご理解のほどお願い申し上げます。

■プログラム

（敬称略）

開会の挨拶：（公社）大阪精神科診療所協会 会長／（医）適水会つつみクリニック 院長

堤 俊仁

<シンポジウム>

「テレワークを含めた働き方の多様性とメンタル不調者の復職の問題」

座長：（一社）関西産研 会長／（有）阪神労働衛生コンサルタント 代表

廣部 一彦

シンポジスト

弁護士の立場から：弁護士法人 大江橋法律事務所 パートナー弁護士

小寺 美帆

産業医の立場から：（一社）関西産研 幹事／（株）豊川産業医事務所 所長

豊川 彰博

精神科医の立場から：（公社）大阪精神科診療所協会 副会長／

（医）伸明会ナンバかぎもとメンタルクリニック院長 鍵本 伸明

<ディスカッション>

座長：（一社）関西産研 事務局長／（株）リードウェル 代表取締役（代表医師）

深井 恭佑

（公社）大阪精神科診療所協会 理事／やすだメンタルクリニック 院長

安田 究

■参加費：関西産研・大精診・関西心理相談員会の各会員；1,000円 / その他（左記会員以外）；4,000円

※取得可能な単位：

日本医師会	認定産業医制度 生涯研修	専門（メンタルヘルス）2単位	●	【注 意 点】 ● 『会場での参加』に限って取得可能 ◎ どちらの参加方法でも取得可能 (*) 他府県の方には参加証をお渡しします
日本産業衛生学会	産業保健看護専門家制度	2単位	◎	
大阪府医師会/日本医師会(*)	生涯研修システム	2単位 (CC: 0.5)	◎	
日本精神神経学会	精神科専門医制度	C群 1単位	◎	

** 参加ご希望者は、2月26日（月）までに下記二次元コード(又はURL)からお申込みください



お申込はこちらから ⇒



<https://daiseishin.org/mice240302>